

武田薬品工業株式会社への企業訪問について

訪問概要

【訪問企業】 武田薬品工業株式会社
 【訪問日】 平成30年2月28日
 【主な出席者】
 <武田薬品工業株式会社> 東口日本人事室長
 人事関係 幹部方
 <大阪労働局> 田畑労働局長



左：大阪労働局 田畑局長
 右：武田薬品工業 東口日本人事室長

意見交換

働き方改革に向けた主な取組(抜粋)

項目	主な内容				
年休の取得促進 <table border="1"> <tr> <td>全社設定目標</td> </tr> <tr> <td>2015年度 60%</td> </tr> <tr> <td>2016年度 65%</td> </tr> <tr> <td>2017年度 70%</td> </tr> </table>	全社設定目標	2015年度 60%	2016年度 65%	2017年度 70%	<p>◆2017年度の年休取得率は7割を超える</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の3本柱で各種取組を進め有休取得率を向上させている。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>年休取得計画立案の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 個別での年休取得をフォロー - 年間の取得が5日未満の社員をゼロにするためのフォローを実施 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>大型休暇取得の奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 年休を取得しやすい環境の醸成 - 経営層からのメッセージ配信 - 大型休暇前にアナウンスを実施 - ポスター掲示(10月を年休取得月間に設定) - 年休取得奨励日(3日間)の設定 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>インセンティブの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 労使委員会での進捗確認 ✓ 目標達成に応じたNPO法人への寄付 等 </div>
全社設定目標					
2015年度 60%					
2016年度 65%					
2017年度 70%					
フレキシブルワークの推進	<p>◆コアタイムなしのフレックスタイム制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則、全てのグループでコアタイムをなくし、自主的に始業終業時刻を選択(始業終業の社内アナウンスを廃止)。 ・1日あたりの就業時間を長くしてその分就業日数を少なくする勤務形態(コンプレッドワーク)も可能。 <p>◆在宅勤務制度を拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務が可能であれば利用を認める。以下のシステム等を活用。 <ul style="list-style-type: none"> - ロケーションの離れた相手とパソコン画面を共有 - 在席確認、チャット機能、TV会議参加、IP電話連携機能 等 				

東口日本人事室長より

- ✓ 生産性の向上や労働時間削減に向け、フレキシブルワークの活用や各部門での業務効率化等に取り組んだ結果、余分なプロセスが省かれ、また会議の回数・時間を削減できていることを実感している。
- ✓ 数値から見ても時間外労働の削減や年次有給休暇の取得率向上を着実に進められており、今後もフレックスタイム制や在宅勤務等フレキシブルワークを推進していく。

田畑労働局長より

- ✓ プラチナくるみんを取得し、次世代育成に真摯に取り組まれていることは全国に誇れることであり引き続き取組を進めてほしい。
- ✓ 年休の取得率について、全社で目標を設定し各種施策に取り組んだ結果、年休取得率を着実に向上させることができている。
- ✓ コアタイムなしのフレックスタイム制や在宅勤務制度の拡大等、先進的に取組を行われており、引き続き柔軟な働き方の推進を今後も期待している。